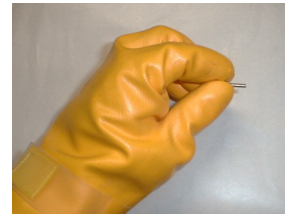


ポリウレタンゴム製・二重構造型
300V以下の低圧作業用

電気絶縁手袋

感電による死亡災害のうち、70%は低圧作業（600V以下）で発生！ しかも少なくともその約半数は300V以下の電路で発生しています。（平成12年 厚生労働省労働基準局安全衛生部資料より）

ポリウレタンゴム と 二重構造化 の採用で
作業性・耐久性・経済性に優れた安全で理想的な
電気絶縁手袋 が実現できました。



ポリウレタン

- ◇ 軽量で強靱、耐摩耗性、耐貫通性、耐引張り性等に特に優れています。
- ◇ 優れた低温特性を有していますので、寒冷地での作業性も良好です。
- ◇ たん白質を含んでいないため、アレルギーの心配がありません。
- ◇ 耐油性に優れています。
- ◇ 環境破壊物質を含んでいません。

二重構造化

『電気絶縁層では作業をさせない』という二重構造化の採用

電気絶縁層である“内層手袋”と、機械的・化学的な障害から電気絶縁層を守る“外層手袋”とが一体となった二重構造となっていますので、「電気絶縁層では作業をさせない」という安全性を重視した構造の手袋です。

内層手袋は、継ぎ目のない一体成型されたポリウレタンゴムで出来ており、厚さは0.15～0.20mm程で柔らかく、しなやかな手袋です。

外層手袋は、ナイロン糸で編み上げたシームレス手袋を基布とし、ポリウレタンゴムを含浸させ微細連続気泡構造とし、その上にポリウレタンゴムのトップコート層を施しています。この内層手袋と外層手袋は指先と裾部のみ接着され、他の部分はフリーになっている『部分接着一体製法』にて成型されていますので、柔らかく、しなやかで、指先にもシワのない使いやすさを実現しています。



準拠する法令等

労働安全衛生規則や労働省告示などでは、交流300Vを超え7000Vまで、および直流750Vを超え7000Vまでの電路や近接にて作業をする場合、各電圧域に応じて使用する絶縁保護具を下表のように種別し規定しています。

一方、交流300V以下、直流750V以下の電路には、使用する電圧に応じた絶縁効力のある絶縁保護具を使用するよう定めていますが、厚生労働省の検定や試験電圧値、自主検査などの規定はありません。

弊社では、早くから法規上規定のない300V以下の範囲について社内規格を定め製品化し、多くの電力会社・電気工事会社に納め実績を積んでおります。

	使用電圧		試験電圧
	交流の場合	直流の場合	
本製品	300V以下	400V以下	*1000V/1分間
種別 I **	300V超600V以下		3000V/1分間
種別 II	600V超3500V以下	750V超3500V以下	12000V/1分間
種別 III	3500V超7000V以下	3500V超7000V以下	20000V/1分間

* 本製品の試験電圧値は社内規格値です。
他の試験電圧値は労働安全衛生規則に規定された値です。

** 種別については便宜上、I、II、IIIとしましたが、労働省告示第144号 絶縁用保護具等の規格では種別とされているだけです。

三恵工業株式会社

<http://www.3k-glove.com/index.htm>